

## NY マーケットレポート (2017 年 2 月 24 日)

NY 市場では、ユーロ圏主要国の政治的な不透明感を背景に、欧米の株価が下落するなど、投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産とされる円を買う動きが優勢となった。また、原油価格の下落や、米 10 年債利回りが年初来の低水準となったことも影響し、ドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。

ドル/円は、一時 112 円台割れとなり、2 月 9 日以来の安値を付けた。一方、ユーロは政治的なリスクを背景に、主要通貨に対して軟調な動きとなり、ユーロ/円は昨年 11 月 23 日以来の安値を付けた。

なお、ダウ平均株価は、引け直前にプラス圏まで上昇し、終値ベースの高値を 11 営業日連続で更新した。

### 2017 年 2 月 24 日 (金)

| TOKYO   | 終値     | 高値     | 安値     |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 112.72 | 112.95 | 112.62 |
| EUR/JPY | 119.44 | 119.50 | 119.14 |
| GBP/JPY | 141.45 | 141.77 | 141.37 |
| AUD/JPY | 86.97  | 87.07  | 86.86  |
| EUR/USD | 1.0596 | 1.0599 | 1.0571 |

| LONDON  | 高値     | 安値     |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 112.73 | 112.19 |
| EUR/JPY | 119.48 | 118.90 |
| GBP/JPY | 141.53 | 140.72 |
| AUD/JPY | 86.98  | 86.22  |
| EUR/USD | 1.0619 | 1.0571 |

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

| NEW YORK | 終値     | 高値     | 安値     |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY  | 112.14 | 112.47 | 111.94 |
| EUR/JPY  | 118.42 | 119.10 | 118.24 |
| GBP/JPY  | 139.72 | 140.93 | 139.42 |
| AUD/JPY  | 86.02  | 86.39  | 85.90  |
| NZD/JPY  | 80.70  | 81.00  | 80.54  |
| EUR/USD  | 1.0560 | 1.0619 | 1.0557 |
| AUD/USD  | 0.7671 | 0.7693 | 0.7664 |

| 米主要株価       | 終値       | 前日比     |
|-------------|----------|---------|
| 米ダウ平均       | 20821.76 | +11.44  |
| S&P500      | 2367.34  | +3.53   |
| NASDAQ      | 5845.30  | +9.80   |
| 日経225 (CME) | 19160    | -125    |
| トロント総合      | 15533.47 | -247.74 |
| ボルサ指数       | 47047.67 | -158.69 |
| ボエスパ指数      | 66662.13 | -799.27 |

#### 2/27 経済指標スケジュール

09:30 【オーストラリア】4Q企業営業利益  
 16:00 【トルコ】2月経済信頼感  
 17:30 【香港】1月貿易収支  
 18:00 【欧州】1月マネーサプライM3  
 19:00 【欧州】2月消費者信頼感  
 19:00 【欧州】2月鉱工業信頼感  
 19:00 【欧州】2月サービス業信頼感  
 19:00 【欧州】2月経済信頼感  
 19:00 【欧州】2月業況判断指数  
 22:30 【米国】1月耐久財受注  
 22:30 【米国】1月製造業受注  
 23:00 【メキシコ】1月貿易収支  
 23:00 【メキシコ】1月失業率  
 00:00 【米国】1月中古住宅販売成約  
 00:30 【米国】2月ダラス連銀製造業活動指数

| コモディティ  | 終値      | 前日比   |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1258.30 | +6.90 |
| NY 原油   | 53.99   | -0.46 |
| CME コーン | 370.75  | -1.75 |
| CBOT 大豆 | 1024.25 | +1.75 |

| 米国債利回り | 本日     | 前日     |
|--------|--------|--------|
| 2年債    | 1.145% | 1.184% |
| 3年債    | 1.394% | 1.431% |
| 5年債    | 1.806% | 1.860% |
| 7年債    | 2.123% | 2.172% |
| 10年債   | 2.313% | 2.372% |
| 30年債   | 2.953% | 3.012% |

|         |        |        |
|---------|--------|--------|
| ドイツ10年債 | 0.186% | 0.233% |
| 英国 10年債 | 1.078% | 1.154% |

#### 2/27 主要会議・講演・その他予定

・ダラス連銀総裁 講演

## NY 市場レポート

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月カナダ消費者物価指数（前月比） 0.9%（予想 0.4%・前回 -0.2%）

1 月カナダ消費者物価指数（前年比） 2.1%（予想 1.6%・前回 1.5%）



出所：Bloomberg

カナダドル=円, 1分足, #100



出所：Net Dania

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月メキシコ小売売上高（前月比） -1.4%（予想 0.2%・前回 1.0%）

12月メキシコ小売売上高（前年比） 9.0%（予想 9.3%・前回 11.2%）



0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米新築住宅販売件数 55.5万件（予想 57.1万件・前回 53.5万件）  
前回発表の53.6万件から53.5万件に修正

1月米新築住宅販売件数（前月比） 3.7%（予想 6.4%・前回 -7.0%）  
前回発表の-10.4%から-7.0%に修正





## 経済指標データ

### 《新築住宅販売》

|         | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 6月    | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------|------|------|------|------|------|-------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 販売戸数    | 55.5 | 53.5 | 57.5 | 56.8 | 56.8 | 55.9  |    |    |    |     |     |     |
| 前月比 (%) | 3.7  | -7.0 | 1.2  | 0.0  | 1.6  | -10.1 |    |    |    |     |     |     |
| 北東部     | 4.4  | 3.8  | 3.0  | 3.4  | 3.1  | 2.3   |    |    |    |     |     |     |
| 中西部     | 7.0  | 6.1  | 7.5  | 6.7  | 7.4  | 6.6   |    |    |    |     |     |     |
| 南部      | 29.0 | 27.8 | 31.3 | 32.8 | 32.8 | 33.1  |    |    |    |     |     |     |
| 西部      | 15.1 | 15.8 | 15.7 | 13.9 | 13.5 | 13.9  |    |    |    |     |     |     |

(万件)

### 《 経済指標のポイント 》

1月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比+3.7%の55.5万件となり2ヵ月ぶりに増加した。前年同月比では+5.5%だった。

①市場の住宅在庫は、1月末時点で前月比+3.5%の26.5万件と2009年7月以来の高水準となり、販売に対する在庫率は5.7ヵ月と改定された前月から横ばいとなり、適正水準とされる6.0ヵ月を引き続き下回った。

②販売物件の中間価格は、前月比-1.0%の31万2900ドル、前年比は+7.5%。平均価格は、前月比-4.8%の36万900ドル、前年比では-1.3%。

0:00

### 《 経済指標の結果 》

2月ミシガン大学消費者信頼感指数 96.3 (予想 96.0・前回 95.7)



出所: Bloomberg

## 経済指標データ

### 《ミシガン大学消費者信頼感指数》

|         | 2月速報  | 2月速報  | 1月    | 12月   | 11月   | 10月   | 9月    |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 消費者信頼感  | 96.3  | 95.7  | 98.5  | 98.2  | 93.8  | 87.2  | 91.2  |
| 景気現況指数  | 111.5 | 111.2 | 111.3 | 111.9 | 107.3 | 103.2 | 104.2 |
| 消費者期待指数 | 86.5  | 85.7  | 90.3  | 89.5  | 85.2  | 76.8  | 82.7  |
| 1年インフレ  | 2.7   | 2.8   | 2.6   | 2.2   | 2.4   | 2.4   | 2.4   |
| 5年インフレ  | 2.5   | 2.5   | 2.6   | 2.3   | 2.6   | 2.4   | 2.6   |

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4Q メキシコ経常収支 -33.63 億 USD (予想 -52.95 億 USD・前回 -76.43 億 USD)  
 前回発表の-75.71 億 USD から-76.43 億 USD に修正



出所 : Bloomberg

0 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、欧州の主要株式指数や原油価格の下落を背景に、序盤から売りが優勢となった。また、ダウ平均が10営業日連続で終値の最高値を更新したことから、利益確定の売りが出たことも影響した。

0 : 40

◀ 要人発言 ▶

トランプ米大統領

- ・「私は反メディアではない、偽りの報道に反対する」
- ・「偽ニュースに対して何らかの対応策をとる」
- ・「われわれは壁を建設する、間もなく始める」
- ・「国境の壁は予定より大幅に前倒しする」
- ・「われわれは2国間貿易協定を推進する」
- ・「エネルギー業界の規制緩和に向けた大胆な行動を準備している」
- ・「中流階級向けに大幅な減税を実施する」
- ・「軍事予算の大幅増を求める」
- ・「国民を守る政策を数日中に発表へ」

2:00

《 経済指標の結果 》

1月フランス求職者数合計 346.8万人（予想 344.6万人・前回 346.7万人）  
 前回発表の 347.3万人から 346.7万人に修正



出所：Bloomberg

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、欧州の政治的な懸念を背景に主要株価は軟調な動きとなった。また、業績先行きが警戒された銀行株が売られたことも影響した。



出所：Bloomberg

# << NY 金市場 >>

NY 金は、中心限月が前日比 6.90 ドル高の 1 オンス=1258.30 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが円などに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが先行した。また、欧州主要国の国政選挙の行方に対する懸念から、比較的安全な資産としての需要も高まったことも影響した。終値ベースでは、昨年 11 月 10 日以来、約 3 ヶ月半ぶりの高値となった。

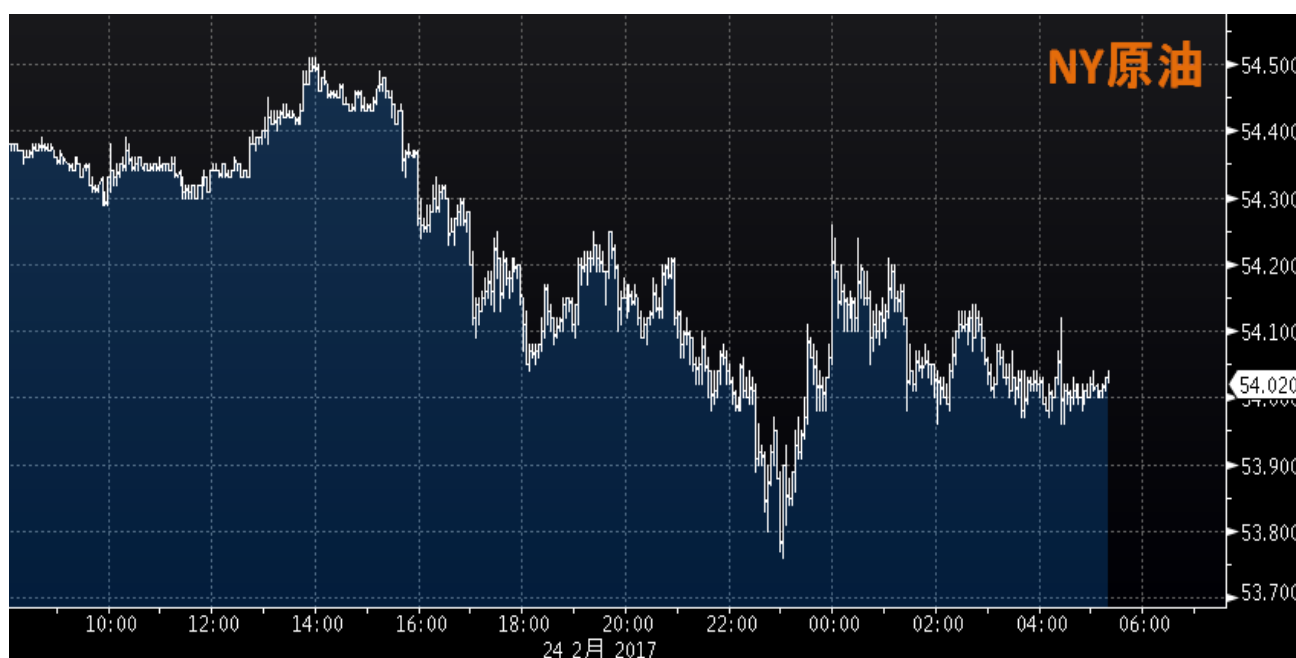


出所：Bloomberg

# << NY 原油市場 >>

NY 原油は、中心限月が前日比 0.46 ドル安の 1 バレル=53.99 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日発表された原油在庫の増加が材料視されたほか、米石油サービス大手が発表した米国内の石油掘削装置の稼働数が増えたことで米国での原油生産拡大への警戒感が強まり、売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

## 《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要株式指数や原油価格の下落を背景に、主要株価は序盤から売りが優勢となった。また、ダウ平均が10営業日連続で終値の最高値を更新したことから、利益確定の売りも出ていた。ただ、終盤には下げ幅を縮小する動きとなり、引け間際にプラス圏まで上昇、ダウ平均株価は11営業日連続で終値ベースの高値を更新した。



出所：Bloomberg

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、ユーロ圏主要国の政治的なリスク懸念で、欧州株が下落したことや、高値警戒感のある米国主要株価が下落したことを受けて、リスク回避の円買いが優勢となった。ドル/円は、一時112円台を割れる場面もあり、ユーロ/円は昨年11月23日以来の安値を付ける動きとなった。ただ、終盤に米主要株価がプラス圏まで上昇して引けたことから、ドル円・クロス円は底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート



---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。